

日本国内における チャリティーショップ運営団体の ネットワーク強化事業

〒231-0023
神奈川県横浜市中区山下町70
土居ビル6階 WE21ジャパン内
E-mail: jimu@charityshop.jp
http://charityshop.jp/



はじめる助成

1年目

知識の提供・普及啓発



チャリティーショップ・フォーラム2018

CSフォーラムの参加者数 **75人**

CS設立相談会の参加団体数 **13団体**

今年度計画の達成度 **90%**

活動の全体目標に対する達成度 **90%**

苦労した点と工夫した点



■ 苦労した点

CSといっても、運営団体によって運営方法や目的がさまざまであるため、「フォーラム」開催時のテーマを決めるのが難しかった。

■ 工夫した点

設立相談会は、NGOのイベントへのブース出展なども取り入れることにより、興味のある人が気軽に参加できるように工夫した。

課題

チャリティーショップ(CS)は、収益による社会貢献活動や不用品リユースの受け皿等のさまざまな価値があるが、日本では数が極めて少なく、市民にほとんど認知されていない。

目標

日本にCSが普及し、利用する市民が増え、リユースによる資源循環が進むと同時に、運営団体が良好な財政基盤の上で、より充実した社会貢献活動を展開できるようにする。

活動内容と成果

●CS講演会、フォーラム等を開催し、CSの認知度を高めることができた。同時に活動を通じて多様な団体や個人との交流が生まれ、社会的認知を高めていく上での基盤が広がった。●加盟団体内で東京都江東区、福島県いわき

市、香川県高松市で新たにCSがオープンした。また、CS講演会に参加した団体が2018年にCSを開設予定である。●法律、税制等の整備に関し、現制度の下で可能な対応策として、品物寄付の寄付金化に向けPOSシステムの勉強会を開催し、理解を深めた。



地域に開かれた助け合いの拠点を表現したロゴ

今後の展望

今後も、講演会や設立相談会、フォーラム等を通じて、CSの価値や認知度を高める活動を引き続き推進する。そのためにはCSの現状をより詳細に把握することが必須であり、全国のCSの状況調査も行う予定である。